

## 予防・衝突等総合安全性能評価の検討について

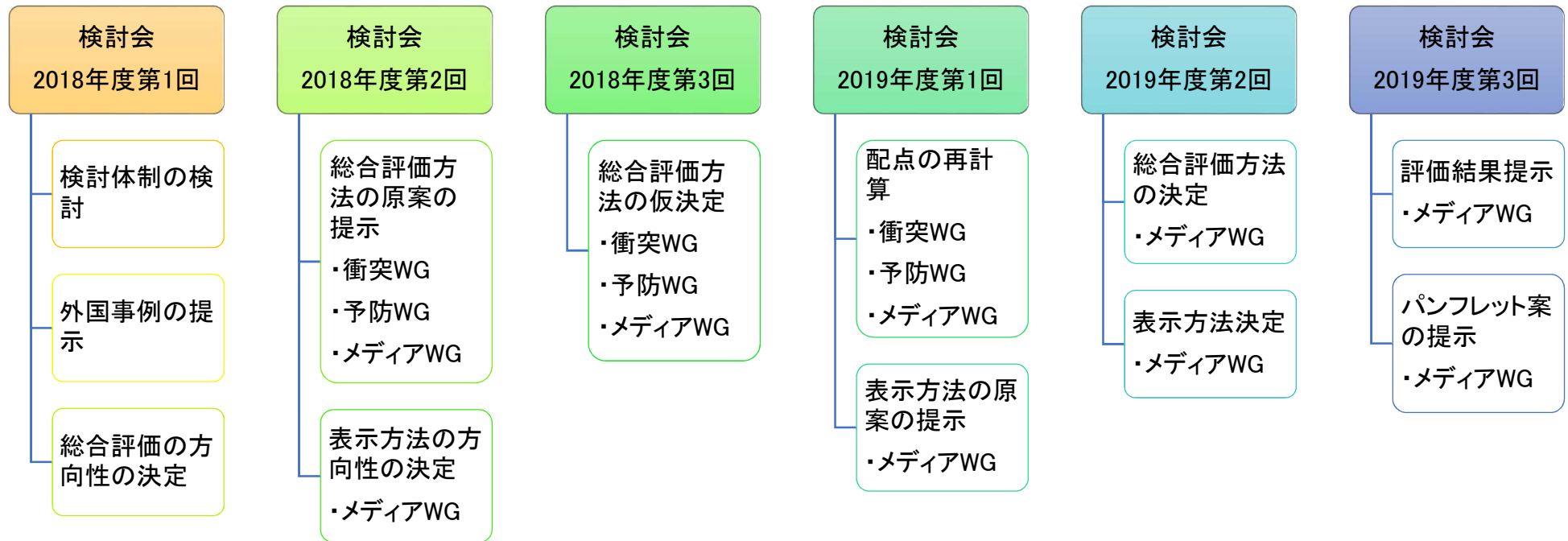
各国の自動車アセスメントの総合評価の比較（評価項目区分）

自動車アセスメント				EuroNCAP						IIHS		NHTSA		
衝突安全		予防安全		大人乗員		子供乗員		交通弱者		安全支援				
合計 100		合計 126		合計 38		合計 49		合計 48		合計 13		点数なし		
評価試験項目	フルラップ前突	21		フルラップ前突	8							フルラップ前突	5	
	オフセット前突	21		オフセット前突	8	オフセット前突	16					オフセット前突	-	
												スモールラップ前突	-	
	側突	15		側突	8	側突	8					側突	-	
	後突	2		後突(前席)	1.5							後突	-	
				後突(後席)	0.5									
				ポール側突	8							ポール側突	-	
												ポール側突	0.4	
	歩行者保護:頭	32						歩行者保護:頭	24					
	歩行者保護:脚	5						歩行者保護:脚	6					
								歩行者保護:大腿	6					
	シートベルトリマインダ	4								シートベルトリマインダ	3			
												横転	-	
												横転	3	
			被害軽減ブレーキ 対車両	32	被害軽減ブレーキ 対車両(市街)	4					被害軽減ブレーキ 対車両(郊外)	3	被害軽減ブレーキ 対車両	5
			被害軽減ブレーキ 対歩行者	65					被害軽減ブレーキ 対歩行者	6				
									被害軽減ブレーキ 対自転車	6				
			高機能前照灯	5									ヘッドライト	-
			踏み間違い 加速抑制	2										
			車線逸脱抑制	16							車線逸脱抑制	4		車線逸脱警告
		後方視界情報	6										-	
										速度制限支援	3			
												前方衝突警告	1	
												前方衝突警告	-	
												ブレーキサポート	-	
						CRS 取付方法	12					CRS 取付方法		
						CRS 取付数等	13							

各国の自動車アセスメントの総合評価の比較（表示・変更対応）

	自動車アセスメント		EuroNCAP				IIHS		NHTSA	
	衝突安全	予防安全	大人乗員	子供乗員	交通弱者	安全支援	衝突安全	予防安全	衝突安全	予防安全
	合計 100	合計 126	合計 38	合計 49	合計 48	合計 13	点数なし		合計 12	
個別評価	5段階	得点	併記 ・5段階(色) ・得点	併記 ・5段階(色) ・得点	併記 ・5段階(色) ・得点	併記 ・5段階(色) ・得点	4段階	無し	5段階	装備有無 の表示
グループ評価	併記 ・5段階 (☆☆☆☆) ・得点	併記 ・3段階 (ASV+++) ・得点	併記 ・得点 ・得点率%	併記 ・得点 ・得点率%	併記 ・得点 ・得点率%	併記 ・得点 ・得点率%	無し	6段階	5段階	無し
総合評価	-		5段階(☆☆☆☆) 得点合成比率:大人乗員 :40% 子供乗員 :20% 交通弱者 :20% 安全支援 :20%				成績優秀な車に称号授与 TOP SAFETY PICK+ TOP SAFETY PICK		-	
グループ・ 総合評価 変更	2016に項目間 の比率を変更 した。変更前と 比較できるように 係数で補正	点数積上げの ため最高得点 が変動	2016年からは、2年毎に合成比率を設定 (ただし、2016～2020までは変更無し)				毎年、評価方法を記載		近年変更なし	
個別評価 追加時の 対応	近年変更なし	点数積上げ	評価実施年が異なると、同じ星の数でも違いがある ことを記載						近年変更なし	
評価実施年 の記載	評価結果メダ ルに記載	評価実施年度 毎の掲載	評価実施した年を記載				モデルイヤー毎に 評価しているように記載 (評価していない場合は 「未評価」と記載)		モデルイヤー毎に 評価しているように記載 (評価していない場合は 「未評価」と記載)	

総合評価の検討のスケジュール



- ・総合評価に基づく評価結果の表示は、2020年度前期結果発表会（2020年11月頃）および2020年度結果発表会（2021年5月末頃）から開始の予定

## 総合評価の方向性

### ①簡潔な評価と詳細な評価の並存

- ・分かりやすい評価の表示として★★★★★を使う。(一般の方からも否定的な意見は無い)
- ・自動車に比較的詳しい方のため、詳しい評価の表示も行う。(段階制又は点数制)
- ・グループ評価を行う。(衝突安全と予防安全のグルーピングが適切か?)

### ②過去の評価結果の有効活用

- ・今後の評価項目の追加等に対応できるようにする。
- ・評価方法や評価基準値の変更のような、比較的小規模の変更では総合評価の方法を変えない。
- ・小規模変更で総合評価の結果に違いがあること分かるようにするため、評価実施年を総合評価結果に併記する。

### ③大規模な変更は5年毎

- ・事故低減効果算出で使用する内閣府の交通事故経済損出分析が5年毎に行われており、評価点の再計算も5年毎となる。